

さいたま市と柏市の未来型まちづくりはこうだっ!

未来に向けたまちづくりを行う「さいたま市」と「柏市」。それぞれの都市で進める「環境共生」や「情報革新」などの取り組みをヌゥとカシワニが紹介しちゃいます!



さいたま市

さいたま市の「都心」である大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区と浦和駅周辺地区。「都心」の機能を補完し、多様な都市機能を備えた、美園地区などの4つの「副都心」。それらを公共交通や、見沼田圃などのみどりで結ぶことにより、集約・ネットワーク型のまちづくりを進めています。

水とみどりで囲まれた、集約・ネットワーク型のまちづくり

浦和美園

環境・エネルギーをテーマにしたまちづくり

地域のまちづくり拠点として平成27年10月に開設された「アーバンデザインセンターみその」を核に、スマートホーム・コミュニティの形成や低炭素型モビリティの活用をはじめ、スポーツ、健康、環境・エネルギーをテーマとした副都心の形成に向けた取り組みを進めています。



超小型パーソナルモビリティ

電気で走るから環境に優しい!



大宮

東日本の顔を目指し、地域と一体となったまちづくり



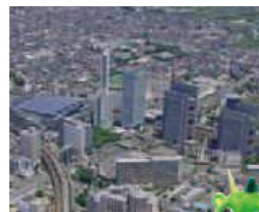
大宮駅東口周辺では「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」に基づき、街の顔となる駅前広場や駅との連携強化について検討が進められています。今後は、大宮区役所の移転をはじめ、老朽化した公共施設の再編などを行い、街区単位での再開発を具体化していきます。

にぎやかで、楽しそうなひろばだね~!

さいたま新都心

「都市」と「自然」が共存する安心・安全でにぎわいのまちへ

さいたまスーパーアリーナや国の合同庁舎など都市機能が集積し、交通の利便性が高く、防災の拠点となる地区。防災機能を備える「安心・安全なまち」、「みどり」と都市が融合するまち、「にぎわいあふれるまち」を目指しています。



緑もたくさんあるんだよ!



柏市

柏駅周辺や柏の葉キャンパス駅周辺の「都市拠点」と、市内の各地域・生活拠点の生活圏域を公共交通軸でつなぐことで、「多核的ネットワーク構造」による「柏版コンパクトシティ」の形成を進めています。

環境想造都市 柏

柏の葉

国際キャンパスタウンを目指したまちづくり

「柏の葉アーバンデザインセンター」を開設し、公・民・学の連携を進める柏の葉では、街区間での電力融通やCO2排出量の見える化など「環境共生」の取り組みをはじめ、「健康未来」、「新産業創造」という3つのテーマを軸に、国際キャンパスタウンの実現に向けた取り組みを進めています。



街区間で電力融通する仕組みは全国初なんだって!

豊四季台

高齢者にもやさしい、健康長寿なまちづくり



いつまでも元気で活躍できる!

高齢者が安心して元気に暮らすことができるまちづくりを進めるため、柏市、東京大学、UR都市機構3者で協力し、さまざまな医療・介護サービスを組み合わせた拠点の整備や、生きがい創出のための就労支援などを行っています。

柏駅

歩行者を優先した回遊性の高い広がりのあるまちへ

「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」において、広がりを持った魅力と多様性のある市街地の形成と歩行者優先のまちづくりを推進し、通りごとに特徴を持った居心地の良い空間の検討をしています。通りに関わる方と、将来像についてワークショップを行っています。



できあがりを楽しみだ~!



近未来へ KICK OFF!

コンパクトシティってなんだろう?



写真: 柏の葉キャンパス駅前

「コンパクトシティ」。この言葉を聞いたことがありますか?
「初めて聞いた」、「聞いたことはあるけれど、意味はよく分からない」という人もいるかもしれません。コンパクトシティとは、住宅や商業施設などのさまざまな都市機能を集め、公共交通で結んだ、便利で住みやすいまちのこと。コンパクトシティとなることで私たちの暮らすまちの未来は、どう変わっていくのでしょうか?

今回の特集では、コンパクトシティ形成にも役立つ「未来型のまちづくり」を進めている「さいたま市」、「柏市」について、両市で活躍する2人にお互いのまちの取り組みや魅力について話し合ってもらいました。

「さらに魅力的な浦和美園づくりに関わる仕事をしています」
横田由美子さん

「柏の葉キャンパスに住んでいます」
遠藤ゆみさん
優那ちゃん



お2人のインタビューは3ページから

おまけ情報 見沼田んぼで生まれ育ったヌゥと、手賀沼在住のカシワニ。「沼つながり」の2人(?)です。カシワニはヤキトリと甘い物が大好き!そのせいで、虫歯が!?